

固形シャンプーが好調

テクノビューティーサプライ

3月中間期売上高は2割増



遠藤 真人社長

テクノビューティーサプライ(埼玉県三郷市、048-956-0865)の遠藤真人社長は3月10日(金)、記者会見し、3月中間期の見通しや今後の計画について大要次のように述べた。

一、今期の3月中間期までの売上高は前年同期比で2割増。かねて開発提案を強化している「固形シャンプーバー」(弱酸性)の採用が進み、本格上市が進んだことなどが寄与した。コロナ禍との共存が進む中、

クライアントの商品開発意欲は高く、インターネット通販企業を中心に取引先の数は増えており、輸出案件も増加傾向にある。しかしながら、原料高をはじめとするあらゆる経費の上昇が続いている中で業績は伸びておらず、引き続き会社基盤の強化に注力する。

一、2021年に完成した「固形シャンプーバー」は、きめ細かなもっちりとした泡と滑らかな指通り、洗い流しの際、キシミの無さが最大の特徴。また、プラスチックを使う必要がない為、SDGsのコンセプトと合致し、環境へ配慮した商品としての展開が可能。本年度はより多くのクライアントに提供可能な体制を整

え、さらに今後は処方バリエーションの拡充と量産化および、より速く納品するための投資も検討している。期待してほしい。

一、設備計画としては昨年、半自動キャップを増設しているが、引き続き量産化・生産効率化と従業員負担減を両立するような機械化を進めていく。

酸性・弱アルカリ性の2タイプ固形石鹸も小ロットから受託生産している。特に「弱酸性透明石鹸」は透明感のある宝石のような外觀で化粧品としての機能を有した肌のpHと同じ弱酸性の固形石鹸である。今後も様々なニーズに応えるOEM企業として邁進するので期待して欲しい。